
大晦日。

augusu

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大晦日。

【Nコード】

N0294BA

【作者名】

augusu

【あらすじ】

ショートショート。

書かずにはいられなかった。

なんだ。今日はずいぶんと騒がしいじゃないか。
出て行ったり人が入ってきたり。

まったく、こっちは全然寝てなどいられない。
普段どおりの日じゃないか。

何時のもののように日が昇って、落ちていく。
ただそれだけの日じゃないか。

私はただ寝て食ってを繰り返すだけだ。
そう。いつものように。

働きもしないし、ストレスなんて嫌いだ。
そりゃあ多少のストレスはあるが、人と接しなければたいした事じゃない。

また誰かに会いに行くのか？
まったく、大晦日だかなんだか知らないが、明日が来ればただの昨日で、

そしたらそれで元日だとの謳うのだろう。
まったくせわしないものだ。

そんな事をいちいちしないで、ただあるがままに生きれば良いんだ。
そんなに急がなくても、日はまた昇るし、誰かは死ぬ。
その順番をいちいち気にしなくても良いんだ。

それがきつと私が先であつてもだ。
その時悲しんだりしないでおくれよ。
そっと埋めるだけでいいから。

……だから。

「ミヤ」

今日の分の餌を早く、早くおくれよ。

(後書き)

最後の最後で我慢できませんでした。
家の猫を見ていて思ったことを小説に。。。。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0294ba/>

大晦日。

2011年12月31日18時53分発行